

米国経済・株式市場情報

インカム収入と複数資産投資によるリスク分散

インフレ高止まり、景気減速懸念、目まぐるしく変化する投資環境

- ▶ 各国金融当局の金融引締めが加速する中、景気減速懸念からリスク性資産が軟調に推移。軟調な相場展開の中、一般的に安定的かつ継続的なインカム収入が期待できる高配当株などの下落率は比較的緩やか。
- ▶ 投資環境が目まぐるしく変化する中、複数資産投資により価格変動などのリスクの抑制が期待できるか。

～安定的かつ継続的なインカム収入に期待～

● インフレ率が高止まりし、各国金融当局による金融引締めが加速する中、景気減速懸念からリスク性資産は軟調に推移しています。企業収益を積極的に設備投資に振り向け、相場のけん引役だったハイテク株など成長株(グロース株)が軟調に推移する中、企業収益を配当などに振り向ける高配当株などの下落率は、グロース株と比較し緩やかなものとなっています(図表1)。軟調な相場展開においても、一般的に安定的かつ継続的なインカム収入(配当・分配金収益)が期待できることが背景にあると想定されます。

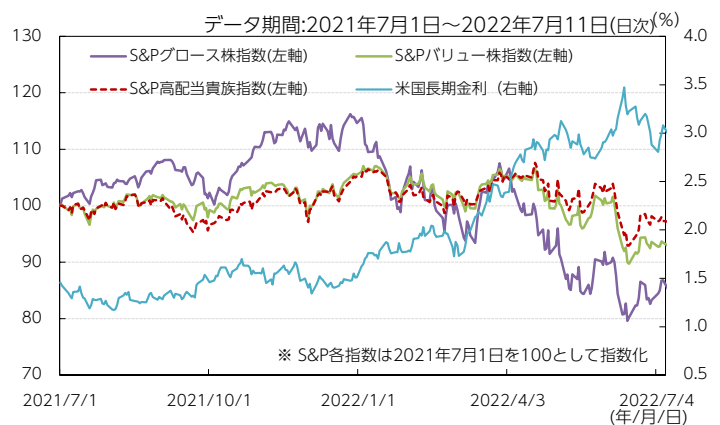
～インカム収入を得られる資産～

- 米国リートは不動産賃料により4%程度の配当利回りを確保できる資産として、比較的堅調に推移してきました。しかし、金融引締めの加速による金利上昇や景気減速懸念を受けて、足元では軟調に推移しています(図表2)。
- エネルギー事業を主な収益源とし、収益の多くを分配金として投資家に還元する共同投資事業形態であるMLPは、コロナ禍からの景気回復による原油需要の高まりから、資金が流入し堅調な推移が続いていました。しかし、足元では金融引締めの加速をうけた景気減速懸念による原油需要の減少懸念から低下基調となっています(図表2)。

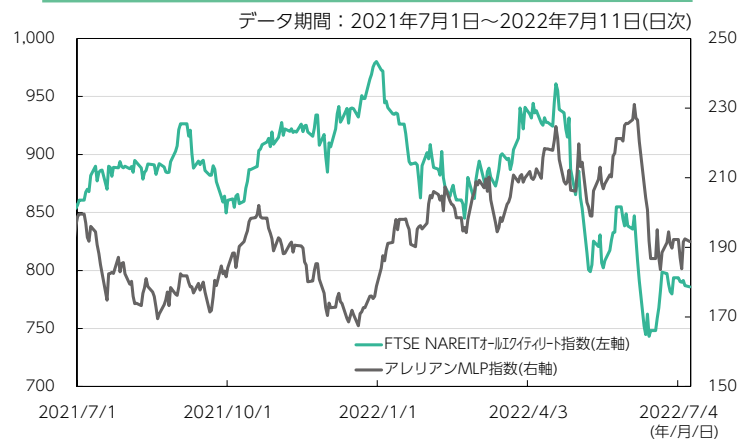
～目まぐるしく変化する相場環境での投資～

● インフレの収束にはまだ時間がかかるとの認識から、金融引締めが加速し景気減速懸念が意識されるようになった6月中旬以降、リスク性資産は概ね下落し、それまで比較的堅調であった米国リートやMLPなども軟調に推移しています。インフレや金利、ウクライナ情勢、景気減速懸念などの要因で、投資環境が目まぐるしく変化することから、当面値幅が大きい相場展開が続くと想定されます。このような相場環境においては、値下がり損失をインカム収入などで補い、複数資産投資を通じてリスク分散を図ることで、単独資産投資と比べ、価格変動や値下がりなどのリスクの抑制が期待できるものと思われます(図表3)。

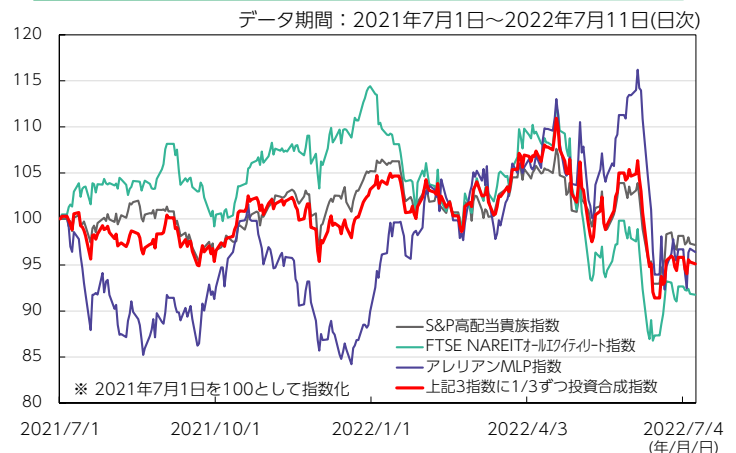
図表1：グロース株・高配当株などの推移



図表2：米国リート・MLPの推移



図表3：単独資産と複数資産への投資



出所) 図表1～3はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>